

TEM-U1000N type

簡易型ガラス製オートクレーブ

加圧、加温、攪拌状態での反応の様子が直接観察できます。

従来の TEM-V1000 型のガラス容器部を大きくモデルチェンジした U1000N 型は、容器透明度が増しさらに内部観察が容易になりました。操作性は従来と変わらず、以下のような特長があります。また最高使用圧力、最高使用温度は安全性を考慮して決定しております。



TEM-U1000N-WT

- 反応中の様子が観察可能。
- ガラス容器としての優れた耐食性が各種実験に活用可能。
- モーター一体型攪拌機 VP-1 の採用により取り扱いが簡単で、安全に準備、実験が可能。
- クランプ式の締め付け方式で、装置の組立、取り扱いが容易
- ポータブルコントローラーにより、温度、攪拌回転数の設定が容易で、さまざまな条件での実験が可能。
- ヒーターはガラス容器外面にコーティングされた透明導電膜により、効率の良い加熱が可能。

主な用途

- ・酸性溶液による反応実験
- ・各種化学反応実験
- ・新素材、電子部品等の耐蝕、耐久評価試験

仕様	TEM-U1000N	
最高使用温度	※200℃	
最高使用圧力	1MPa	
材質	容器	ハイパーガラス
	上フタ	SUS316
	下フランジ	SUS316
	パッキング	バイトン
容積	約 1080cm ³	
容器内径×深さ (mm)	85×210	

※使用上の注意

- ガラス素材は熱衝撃に弱いいため空炊きや少容量での実験は容器破損の可能性が有ります。
- 粘度の高い試料や、比熱の小さな試料では容器内面での熱交換がうまくいかず、熱衝撃が発生し、容器破損の可能性が有ります。
- 試料の性質や仕込み量によってはヒーターボリュームを絞って徐々に昇温する様に設定してください。
- ご不明な点はお問い合わせください。

※試料が水溶液の場合は飽和水蒸気圧の関係で180℃までとなります。